



食と農を楽しく学ぶ ちゃぐりんフェスタ開催

7月27日、小学校の夏休みを利用して呉市広のJA呉アグリセンターで「ちゃぐりんフェスタ」を開催し、呉市内の児童17人とその保護者が参加しました。

JAは家の光協会の子供向け雑誌『ちゃぐりん』を活用し、子供たちに食と農に興味を持ってもらおうと取り組んでいます。



塩と絵の具で描く 「ソルトペインティング」

JA職員が講師となり、ちゃぐりに掲載された工作、ソルトペインティングを行ないました。画用紙に色鉛筆で下書きを行ない、接着剤で下書きをなぞり、そこに塩をかけて絵を描きます。最後に絵の具を使って塩に色付けし、よく乾かして完成です。



「お米の作り方」

～家にお米が届くまで～

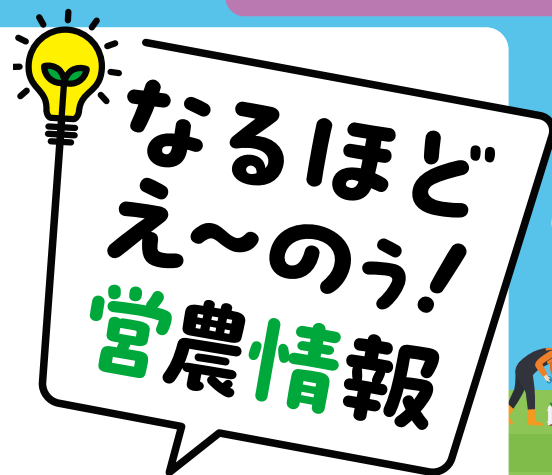
JA職員から『ちゃぐりん』の紹介を受けた後、お米がどのようにして作られているか、土づくり・種まきから収穫を経てお店に並び各家庭に届くまでの流れについてクイズを交えながら学びました。



JA女性部特製カレーを堪能

お昼ご飯には、JA女性部呉地区本部広支部広北グループ特製のカレーをいただきました。参加者にも大好評でした。





落葉果樹

■イチジク

▽礼肥の施用

樹勢の回復と貯蔵養分を蓄積させるために施用します。

施用するタイミングは収穫が7、8割終了した時点となります。

ただし、樹勢の強い若木などは控えめに施用します。

▽病害虫防除

園内に腐敗した果実を放置していると、それが病害虫の感染源となります。可能な限り腐敗果などは園外に持ち出して処分することを心がけましょう。

▽台風対策

葉の大きいイチジクは他の果樹に比べ台風被害を受けやすく、強風により、倒木や枝折れ、そして果実は

風スレなどによる傷果がでやすくなります。

対策としては、支柱などで樹を固定し補強することです。

日頃から風の当たりやすい園地で栽培している場合は、防風網を設置するなどの対策が必要です。

■カキ

▽汚染果対策

果実が成熟するに従い、皮の一部が黒変するものを「汚染果」といいます。

特に西条柿や太秋で多く発生します。

主な原因は、園内が過湿状態になったり急激な土壌水分の変化などです。

日頃から園内の除草を徹底し、枝が過繁茂とならないよう通気性を良くし、果実が乾きやすい環境を作りましょう。

■モモ

▽礼肥と土壌改良

8月下旬～9月中旬に肥料を施用しましょう。

また、秋根が発生する前の9～10月にスコップなどで断根し、完熟たい肥（こだわり健肥など）や土壌改良剤の施用を行います。

▽秋季せん定

この時期のせん定の目的は、①樹

勢を落ち着かせる、②骨格の形成、③葉芽や枝の充実となります。

樹冠内部から徒長している枝やかぶさり枝、勢いの強い枝などを取り除きます。

除く程度は、冬のせん定量の約2割程度までにとどめます。

枝の伸長の心配がなくなる9月から実施しましょう。

①主枝の真上から発生した徒長枝は、切除する

②主枝や亜主枝が負け枝になりやすい枝は切除する

③骨格枝に近く平行枝になっている中の枝は切除する

④側枝基部から20cm以内に発生した背面からの徒長枝は切除する

図1 秋季せん定で切除する枝

■キウイフルーツ

▽棚面管理

棚面が暗くなると糖度が低くなり、貯蔵性が低下するため、明るさを保つように心掛けましょう。明るさの程度は、棚下へ木漏れ日がさす程度です。

▽かん水

乾燥が続く場合は、葉が傷み落葉することがあります。

引き続き、適度な土壌水分を保ちましょう。

■スモモ

収穫も終了し、収穫後の管理が中心となります。

▽秋季せん定

9月中旬までに行ないます。下がってしまった主枝のつり上げや支柱立て、混みあっている部分の間引きや徒長枝の整理を行ないましょう。（図1参照）

■一言

落葉果樹は秋になると、葉で作った養分を枝や根に貯蔵し、冬支度の準備に入り始めます。

効率よく貯蔵を促すためにも、適度な葉数の調整や肥料の施用、かん水などが重要となります。

作業が遅れないように気を付けましょう。

家庭菜園

9月は夏野菜の収穫と秋冬野菜の準備で、葉物野菜・根菜類の種まき、育苗・植え付け、間引き、追肥・土寄せ等の作業が並行的に行なわれ、繁忙期を迎えます。

暑さが一段落すると夏野菜から秋冬野菜へ移行していくため、秋冬野菜の栽培が本格化します。この時期は一晚ごとに夜温が下がってくるので、種まきや植え付けが遅れないようにしましょう。

また、8～9月の高温・乾燥期には、小松菜、ブロッコリーなどのアブラナ科野菜は、アオムシやハスモンヨトウなどチョウ目害虫による被害を受けやすいため、早めの防除を行ないましょう。

1日の日長が短くなるとともに、台風、長雨の時期であるので、次の事について早めの対策と作業を心がけましょう。



●台風対策

種まきや苗の植え付けに際し、適度な降雨は恵みの雨となる一方、秋雨前線に伴う長雨、台風は農作物の作況に大きく影響します。

台風が発生したら進路を注視し、接近しそうなになったら事前に強風と大雨対策を立てて、水はけが悪い場所があるようなら、排水溝を作るなど被害軽減を図りましょう。

可能であれば菜園を囲むように防風ネットをはり、種まき、植え付けの間もない野菜には寒冷紗やネットなどで覆い保護します。

生育中のブロッコリー、キャベツ、ネギなどは株元に土寄せをして、揺れを減らしましょう。

台風が通過したら、風で倒れて自力で立ち上がれない株は支柱に誘引し直しましょう。

●種まき、植え付け

葉物野菜はホウレンソウ、小松菜等、根菜はダイコン、カブ等の種まきが本格化します。

暑が続いている場合は、軟弱な生育をするホウレンソウ、小松菜等は、種まき後に遮光ネットをトンネル状に被覆して、土壌が乾燥しないように2～3日おきに水やりを行な

います。

ネットを張ったままだと徒長しやすくなるため、本葉が4～5枚になったら取り除きます。

ホウレンソウは、特に暑さに弱いので涼しくなるのを待ってから種をまきましょう。

レタス、ブロッコリーの苗は、本葉が4～5枚に育った頃が植え付けの適期です。

ブロッコリーは株間35～45cm、条間45～50cmに植え付けます。

株が大きくなる晩生種は条間、株間を広く取ります。

レタスは、株元への土の付着、病害虫防除、生育促進のためマルチを張り、植え付けます。

気温の高い時期は、白黒ダブルマルチ（表面が白、裏が黒）がおすすめです。定植時の気温が低い場合は、黒色や透明のマルチを選択する方法もあります。

●間引き

間引きは、株が密集している状態を解消し、残った株の健全な生育を促すために重要です。

ホウレンソウ、小松菜は、徒長を防止し、生育を揃えるため、発芽後に密集している株を間引き、本葉4～5枚の頃に株間4～5cmにし

ます。

ニンジン、本葉2～3枚の頃に株間3～4cm間隔に間引きします。本葉5～6枚の頃に最終的な間引きを行ない、株間12～13cmにします。このとき、子葉が大きく正常な形で軸が太く、直立した株を残すようにしましょう。

●追肥と土寄せ

ブロッコリー、ハクサイ、キャベツ等は株が成長したら畦間の土を株元に寄せます。

土寄せをすることで株元が固定され苗が倒れるのを防ぎます。また、土壌の通気性や排水もよくなり、除草にもなります。

追肥は土寄せ前に行ないます。

2回目と3回目の間引きの後に1㎡あたり50gをばらまきして、土と混ぜて行ないましょう。



ニンニク販売大盛況 呉市立郷原小学校



呉市立郷原小学校6年生は7月16日、JA郷原支店でニンニクの販売を体験しました。
同小学校では総合的な学習の時間を利用して郷原産ニンニクの調査や栽培・販売に取り組んでおり、農業の楽しさや魅力を伝えようと藤沖さんら生産者やJA職員も協力しています。

児童らの手によって昨年秋に植え付けし、5月に収穫したニンニクをネットに詰め、独自の商品タグを取り付けて販売しました。販売会は大盛況となり、準備した約500個のニンニクは1時間で完売となりました。



▲笑顔で販売する児童たち

お盆に向けて菊の出荷 (有)山本農園



8月上旬、江田島市沖美町三高地区で菊を栽培する(有)山本農園では、盆に向けて収穫・出荷が最盛期を迎えました。ピーク時には1日2万本を超え、お盆用として約12万本を出荷しました。

長年にわたって蓄積した栽培データを活用して苗を育て、輪菊では花芽の成長を遅らせて開花時期を調整する電照菊も栽培しています。

今年は、例年より3週間も早い6月中旬に梅雨明けし気温も高くなりました。「天候に左右されるため管理が大変。丹精込めた菊をお盆用の仏花だけでなく、日用でも楽しんでほしい」と汗を流します。

同農園は、4haの農園で小菊や輪菊など

約60品種を栽培し、年間130万本の出荷を計画しています。



▲お盆に向けて忙しく作業をする山本さん

地元高校生が就業体験 呉商業高校2年生



JA呉地域は、地域貢献活動の一環として、毎年インターンシップを実施しています。今年度は7月30日から3日間、呉商業高等学校の2年生2人を受け入れ、呉グリーンセンターと信用共済課、総務管理課や呉支店で就業体験を行ないました。

初日は事業説明の後、呉グリーンセンターで産直市用の花卉の準備や荷造り、2日目からは信用共済課で事務処理、呉支店で札勘なども体験しました。

体験した遠木由佳さんと向井沙藍さんは、「日常生活では触れることができない体験ができて楽しかった。隣で優しく指導していただいたので安心して作業することができました」と笑顔で話しました。



◀グリーンセンターで花の出荷作業